

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入し、保健委員を引き受けるなど、近隣住民との交流を深めている。 自治会の盆踊りや清掃活動に参加している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回隔月に開催され、地域包括支援センター職員、民生委員、福祉関係者等がメンバーとして出席している。しかしながら、地域包括支援センターの職員の出席が6回中3回であったが、欠席の際にはその理由の届けが入っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市主催の認知症サポーター講習会のための会場としてホームを提供している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	苦情相談受付窓口が用意されていて重要事項説明書に明記されている。 家族向けホーム便りが年6回発行されている。 個別の連絡ノートが用意され、家族の意見、要望が書き込まれている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近隣住民がホームを理解し歓迎しているため良好な関係が結ばれている。
行政関係者、知己者、専門家、同業者等が運営推進会議に出席していて、ホームのよい点も改善すべき点も、明らかにし、自ら情報公開している。